アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.152/2019 年(令和元年)10 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第151号をお届けします.

【1】ISAP2019参加報告

ISAP2019(2019 International Symposium on Antennas and Propagation)が、10月27日～30日に、中国西安（会場はParadise Resort）で開催されました。陳AP研委員長がIAC Co-chairのを務められ、広川前AP研委員長がTPC Co-chairを、多くのAP研の方がTPCメンバーを務められてました。総発表件数は、540件（採録率84.6%)、日本からは、AP研顧問の新井教授のキーノート講演をはじめとして101件の発表がありました。中国が341件と最も多くの発表があり、韓国24件、マレーシア12件、台湾12件などとなっていたとのことです。2020年は、10月26日～30日に大阪で開催されます。日本開催で、既に多くの方々が準備に係わっています。日本からの多くの投稿と企業の方々の展示も期待されております。既にWebページが開設されておりますので、皆様確認もよろしくお願いいたします。

ISAP2020のWebページのリンクはこちらです。　http://www.isap2020.org/

【2】 IEEE CAMA参加報告

2019 IEEE CAMA (2019 IEEE Conference on Antenna Measurement and Applicationsが、10月22日～25日にインドネシアバリ島（会場はBintang Bali Resort）で開催されました。22日チュートリアル講演としてDr. Vikass Monebhurrunから IEEEで実施されているアンテナ測定の標準化の取り組みが紹介されました。23日からの講演では、AP研顧問の横浜国立大学新井先生のkeynote講演を含めて4件のkeynote講演が行われました。招待講演を含めた総発表件数は104件でした。2020年は、11月23日～25日にフランスAntibes Juan-les-Pinsで開催されます。ISAP2020開催から約1か月後の開催です。日本からの多くの参加を期待したいと思います。

IEEE 2020 CAMAのCall for paperへのリンクはこちらです。

http://aeroxess.com/images/2020%20IEEE%20CAMA_Call%20for%20Papers.pdf

【3】 10月AP研開催報告

10月の研究会は, 10月17日(木)～18日(金)に大阪大学豊中キャンパスにて開催されました。今回の研究会では、AP研はじめての取り組みとして、企業と学生の交流イベントを実施しました。企業11社と１研究所が参加して講演を行いました。学生からのポスター発表は20件でした。さらに、懇親会では企業のポスターセッションが開催され、企業と学生が積極的に交流する技術交流会という形で実施することで、学生は企業の現状を詳細に知ることができ、また、企業の担当者の方々も学生さんのマインド等も詳細に知ることができたと感じることができました。アンケートの結果も満足したとの評価（1件以外は）をいただきました。より多くの企業の参加を希望する意見もあり、次年度はより多くの企業と学生の参加に向けた取り組みが実施できると感じることができたイベントになりました。

大阪大学の塩見先生をはじめとする現地世話役の方々には、会場設営などを含め多大なご尽力をいただき、多くの参加者で開催することができましたことを感謝したいと思います。

【3】 今後の開催案内

11月20～22日佐賀大学、12月12日機械振興会館にて開催されます. 1月23日(木)～24日(金) サンポートホール高松(香川県)で開催されます。皆さまのご参加を期待いたします。

【4】 副委員長の戯言

10月のAP研関連行事としては、2件の大きなイベントとして、10月研究会での企業と学生の交流イベントの開催と、中国西安で開催されたISAP2019が開催されました。私もISAP2019に参加しました。ISAPの会場は、西安の中心に近い場所で、鐘楼、大雁塔、明代城壁という有名な観光スポットがあり、また、街中に灯篭が飾られていて、夜の街は幻想的な感じでとても綺麗な整備された町でした。研究所の仕事の関係で西安には3日間しか滞在できませんでしたが、最終日は大学の見学の後に兵馬俑の見学もでき、最新の研究拠点と古代の中国遺跡両方を感じることができました。兵馬俑を見学できたところまではよかったのですが、閉館時間頃に訪問したため、お店は全て閉店しており、さらに帰りのタクシーが無くなってしまいました。困っていたところを現地の親切なバスガイドさんに助けてもらい、路線バスで会場近くまで１時間半ほどで帰ることができました。西安の方々は皆親切ですね。観光等で西安の兵馬俑を訪問される際には、路線バスも便利ですので、検討してみてください。来年のISAP2020は大阪開催です。

10月の研究会はソサイエティ大会と同じ大阪大学豊中キャンパスでの開催で、塩見先生には、2か月連続で大変お世話になり、感謝いたします。しかし私は、IEC TC103国際幹事を務めている関係で、中国上海で開催された国際会合に参加したため、10月研究会には参加することができませんでした。全て、幹事の有馬先生から聞いたお話です。有馬先生にはとても感謝しております。

インドネシアバリで開催されたIEEE CAMAに参加しました。22日初日に開催されたチュートリアル講演では、IEEEで実施されているアンテナ測定法の国際標準化の現状が報告されました。IEEE Std. 145-2013: Antennaの改訂、Std. 149-1979: Antenna measurementの改訂、Std. 1720-2012: Near field Measurementの改訂、Std. 211-2018: Radio Wave Propagationそれぞれの状況が報告されました。IECでは、TC103が担当する標準化になるのですが、現在はワーキングがありません。IEC TC103は、私が国際幹事を務めていますので、日本が主導していくことも可能だと考えています。IEC TC103では、WG6のみがアクティブなWGで、こちらでも世の中の流れに追いついていくよう5Gに関連する光ファイバリンクシステムの国際標準化を実施しています。今は、新幹線で円滑に5Gが利用できるようにするために100 GHzに近い周波数で新幹線と通信することを可能にするシステムの国際標準化が最もホットな話題ではないかと考えています。機会があれば、詳細なご報告も実施できればと考えております。

例年10月は多くの国際会議が開催されます。今年私は、EuMW2019に参加して講演を行った後、AMTA2019に参加し、AMTA Senior Membershipを授与されて賞状とメダルをいただきました。EuMWでは、ハイパワー半導体を実現するGaNの展示と発表が非常に目立ったという印象です。日本にも今後この流れが来るのではないかと思います。EuMW、AMTA、CAMA、ISAPの詳細にご興味のある方は、AP研幹事団にコンタクトしてみてください。

〈問い合わせ先〉

アンテナ･伝播研究専門委員会副委員長　黒川 悟（AIST）
E-mail:ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)
AP-NET:AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて
AP研HP:http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/